

支払方法（入居時一括、都度払いなど）の意向（1/2）

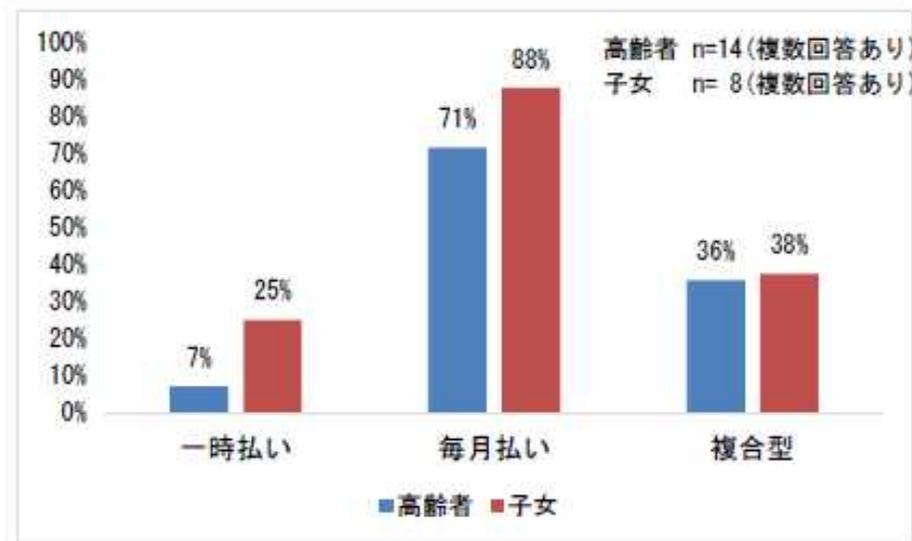
調査時点において、瀋陽市の高齢者施設には、日本で行われているような入居一時金を初期の段階で一括納付するという支払方法が確認できていない。月払いもしくは入居時に小額の保証金のみが発生する支払形態がすべてを占めていると考えられる。

インタビューでは、入居一時金方式も含めた支払方法を説明し、高齢者および子女の意向を伺った。以下にその結果をまとめる。

高齢者と子女を問わず、月払いを最も好むという結果であった。現時点において一時払い方式に対するインセンティブはそれほど高くない。しかしながら、一時払いと複合型の合計が高齢者、子女のいずれも40%近くに達していること、高齢者と比べて子女の一時払いを選択する比率が高いことより、今後一時払いを選択する人が徐々に増加していく可能性も考えられる。

以下に、高齢者および子女のインタビューによる主なコメントを示す。

図表・66 高齢者施設に対して希望する支払方法



支払方法（入居時一括、都度払いなど）の意向（2/2）

a. 高齢者

- ・一時金が高いのであれば、月払いを選ぶ。
- ・月払いであれば、気に入ったら住み続け、気に入らなければ家に戻ることができる。
- ・賃貸で入居している途中で、購入に切り替えることができるようなものがあればいい。
- ・一時金を支払ってしまうと、途中で退去できないことが不安である。

b. 子女

- ・未償却分を返金してくれるなら一時金払いも考えられるが、入所時の年齢による。80歳で入所する場合、15年間で見るのは長すぎるだろうから、その場合は15年分を支払いたくない。
- ・保証金として100%返金してもらえらるなら大金を支払ってもよい。主に信用度（返金が確実に行われるかどうか）を考える。銀行に預け入れてもそれほど利息はない。
- ・半年分または1年分であれば前払いしても良い。
- ・一時金の償却の概念は理解できるが、受け入れられない。保証金として支払っておき、退去時に全額返金されるのであればよい。